

大河内小だより



2025

<http://www.okawachisho.com>

令和7年10月29日

ビッグニュースです。大河内小学校のことが絵本になります!!

「校歌の作者発見」のことはこれまでもみなさまにお伝えしてきましたが、この度、この経緯を知った絵本作家さんにご縁が繋がりと、なんと、この実話をベースにして絵本を出版していただけることになりました。

【お話に盛り込まれるかもしれない内容】

- ①学校創立140周年記念の行事の一つとして、地域の皆様と航空写真を撮った。
- ②クリアファイルに、校歌を載せようとしたら、校歌の作者が不明だった。
- ③地域の方々に尋ねたら、63年前に、本校職員の山本薫先生が作詞、中山美智子先生が作曲を担当して校歌が作られていたことがわかった。
- ④3年生の子どもたちが作者と出会い、どうして63年間ずっと秘密にされてきたのか、その本当の理由を知った。
- ⑤4年生が調べると大河内第二小学校に5年間しか歌われていない幻の校歌があった。
- ⑥大河内は、魅力あふれる人、歴史や思い出、景色がたくさんある素敵なふるさとだ。

今年は、3年生と4年生が探求学習で大河内小学校や大河内第二小学校のことを学んでおり、探求で分かった事実や資料もたくさん集まっています。校長室の前に探求学習でお借りし、コピーした資料をたくさん掲示していますので、お近くにお寄りの際はぜひこれら貴重な資料を見て懐かしんでください。絵本の完成は1年くらい先です。お楽しみに…!

絵本作家の
由美村嬉々さんです。

校歌の作詞をしてくださった山本薫先生の娘さんです。たくさんさんの絵本を学校にプレゼントしてくださいました。名作「バスが来ましたよ」、卒業式で読み聞かせた「四角い空のおこうへ」など、実話をもとにした素敵な絵本を多数出版されています。玄関にあるので読みに来てくださいね。

関東から来てくださった、絵本作家さん、挿絵画家さん、出版社のみなさまです

出版社 アリス館 重役の
山口郁子さんです。編集を担当されます。「バスが来ましたよ」以来のタッグということで、とても素敵な絵本になることまちがいなしです。

挿絵を描いてくださる、松本春野さんです。なんとあの有名ないわさきちひろさんのお孫さんです。「バスが来ましたよ」や、「トットちゃんの15つぶのだいず」という本など、たくさん心の温まる優しい挿絵を描かれています。



※由美村嬉々さんの本名は木村美幸さんです。(10月27日(月)玄関絵本コーナーの前で)